

能登半島地震

・ライフラインの被害
・ボランティアについて

・避難所運営
・理解してほしいこと

2007年5月
練馬区防災課 作成
禁無断転載

ライフライン被害

道路

- ・国道249号線が多数崩壊。その他にも県道の被害多数。
- ・能登有料自動車にも被害箇所多数

停電

- ・最大で11万戸が停電。25日夕方にはほぼ解消。

断水

- ・28日朝の時点で輪島市1,756世帯が断水、穴水町では解消。
- ・断水により、避難所はもちろん、在宅避難者もトイレが使用できない状況。
- ・仮設トイレを大量に搬入。
- ・各自治体の水道部局は発生当日から24時間態勢で補修作業。

下水道

- ・配管破損やマンホールの浮きがあったが早い仮復旧で、水処理に大きな影響なし。

避難所や避難者の状況

発災直後

- ・発災当日から翌々日をピークに避難者は減少。
- ・断水したためにトイレが使用できず、仮設トイレを設置。
- ・近畿圏の自治体が給水車を派遣。
- ・3日目から保健師が避難所に入り、避難者の健康管理のため相談を受けたり、体操の指導を実施。

発災後10日

- ・ノロウイルスによる食中毒やインフルエンザ等への対策。
- ・断水による風呂対策として、公共の施設を利用した入浴。
- ・高齢者が多いために、仮設トイレも洋式のものが求められる。
- ・ボランティアを装った業者(建物補修)や侵入盗等の注意に関する広報を行う。

避難者の人数 発災当日の25日から27日がピークで、28日から減少。

	3/27 13:00		4/3 16:00		4/12 8:00	
	避難者数	避難所数	避難者数	避難所数	避難者数	避難所数
七尾市	17	4	0	0	0	0
輪島市	2,032	24	671	19	236	9
穴水町	21	3	55	2	53	3
志賀町	126	7	41	4	29	3
計	2,196	38	767	25	318	15



3/26地震翌日の午前の時点で、門前地区を除き、橋と道路の接合部の段差や走行に支障のする小規模な亀裂は、すでに補修済みか補修作業中だった。



3/27門前総合支所付近。開口部の大きい商店が大きな被害を受けている。



3/27門前東小の横の道。液状化で下水道のマンホールが浮き上がっている様子。100箇所程度発生。



3/26門前会館(避難所)。玄関に置かれた給水車



3/26地震翌日の門前会館(避難所)の様子。



3/27門前町の諸岡公民館(避難所)。入口前のテントで炊出しが行われている。



能登半島地震では、多くの救援物資があり、食料や水に困ることは少なかったようです。もし、東京に大きな地震が起きた場合、練馬区に救援物資が来るでしょうか？他の区もさらに大きな被害が生じている可能性があります。そのために三日間分の食料・水は備蓄しましょう。

五月の初めには仮設住宅が完成。全ての避難所がなくなりました。



4/5門前西小(避難所)。授業再開に向けた避難所の撤収作業。仮設パネルも撤去されている。

理解してほしいこと ~ 能登半島地震の教訓 ~

家の耐震について考えて

- ・耐震診断や耐震改修
- ・家だけじゃなく家具の転倒防止も

備蓄物品を置いてください

- ・三日分の食料や水を備蓄しよう
- ・トイレの備蓄も忘れずに
- ・持病がある方は常備薬も

地域活動への積極的参加

- ・知り合いの大切さ
- ・地域は地域で守る